

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社 J-オイルミルズ（証券コード:2613）

【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-

■格付事由

- (1) 植物油大手の一角。業務用市場では国内トップシェアを維持している。味の素の持分法適用関連会社であり、味の素ブランドの許諾契約を結んでいる。主力の油脂事業のほかに、マーガリンや粉末油脂を扱う油脂加工品事業、スターチやケミカルなどを販売する食品・ファイン事業を手掛ける。19年10月にはマレーシアの油脂加工品会社との業務・資本提携の契約を締結するなどアジアでの事業基盤拡大を図っている。
- (2) 激しい販売競争や原材料価格の変動などの影響を受けているものの、業績は安定的に推移している。オリーブオイルなどの高付加価値品の販売拡大、生産拠点の最適化など効率化への取り組みが背景にある。今後も物流費をはじめとしたコスト増加が見込まれるが、適正価格での販売や継続的なコストダウンにより、利益は底堅く推移すると想定している。良好な財務構成は維持可能とみられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 20/3期の営業利益は65億円（前期比14.8%増）と増益の計画。搾油環境の悪化や物流費の上昇を織り込んでいるものの、高付加価値品の拡販や広告費の抑制により利益を確保する予想。20年までの中期経営計画の成長戦略では高付加価値品の拡大、ソリューション事業の進展を掲げており一定の成果が出ている。今後もこれらの取り組みにより、利益水準が向上するか確認していく。また、現在、当社は日清オイリオグループと搾油事業に関する業務提携について協議を開始した。長期的な油脂事業の効率化に資すると考えているが、今後の契約内容および業界全体に与える影響について注視している。
- (4) 20/3期第2四半期末の自己資本比率は61.6%であるなど財務構成は良好な水準にある。今後も既存設備の更新投資や事業成長に向けた投資が想定されている。ただし、当社の良好な財務構成とキャッシュフロー創出力を踏まえれば、財務面に与える影響は限定的と考えている。

（担当）井上 肇・三浦 麻理子

■格付対象

発行体：株式会社 J-オイルミルズ

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120億円	2017年5月30日	2027年5月28日	0.370%	A-

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年11月26日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：井上 肇
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「食品」（2011年7月13日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社J-オイルミルズ
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル